

# 2020年

制作：広報部 ぼくら

# こまつがわ

# 地域号

題字：宗新光さん

社会福祉法人ひらイルミナル

地域活動支援センターこまつがわ

〒132-0034 東京都江戸川区小松川2-9-2 1階

☎ 03-5858-6421(代表)



## 国内の外猫事情

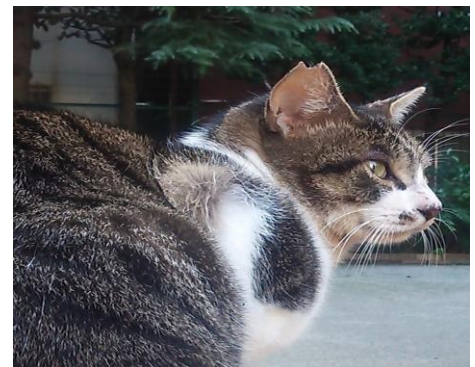
現在、国内で殺処分されている猫の多くは、外で暮らす猫たちが産んだ子猫や、飼い主の事情により飼うことができなくなった猫たちです。この江戸川区でも、飼い主のいない猫についての相談が保健所に多く寄せられています。例えば、猫のトイレの問題、与えられたエサが放置されてカラスや害虫が発生する、発情期の鳴き声がうるさい、ノラ猫が子猫を産んで困っているといった内容です。ですが、猫それ自身が不衛生なわけではなく、望んで迷惑となるわけではありません。猫と暮らす人間側の管理が問題なのです。やはり無責任な飼い方であったり、捨て猫は許されるべきではありません。

## TNRとは？

TNRとは「Trap：捕獲し、Neuter：不妊去勢手術を行い、Return：元の場所に戻す」の略で、世界的に行われている地域猫活動です。細心の注意のもと捕獲され、不妊去勢が行われた猫は耳の先端が目印としてV字にカットされています。そうした猫は、桜の花びらのような耳の形（さくら耳）から「さくらねこ」と呼ばれます。

## 「平井・小松川Shippoの会」さんの活動

「平井・小松川Shippoの会」さんは、2014年より平井・小松川で活動し「地域猫活動」をはじめとしたボランティアをしている江戸川区認定の団体です。地域猫活動とは、猫の殺処分や糞尿被害などといった、地域にもとづく猫と人間双方の不利益を減らすこと、そして不幸になる猫を増やさないことを目的とする取り組みを指します。飼い主のいない猫が繁殖して増えないように、ボランティアや地域住民、行政などが協力したTNRが主な活動です。そして、その後もエサやりやトイレの世話といったマナーの徹底が肝要です。Shippoの会さんは地域の猫を適切に世話して問題を解決していく上で、そうした知識の周知や啓蒙にもつとめておられます。そしてShippoの会さんは江戸川区保健所と協働して、地域の保護猫活動も推進しています。ノラ猫の保護や里親探しの相談、お手伝いなどを行っていて、これまでに多数の不妊去勢手術を行い、里親を見つけてきたという実績があります。猫が好きで、ノラ猫の問題に興味がある方が本紙をご覧の中にもおられるかと思います。例えば、エサやりの正しいマナーを学ぶことであったり、知人に周知するという方法でも、外猫を救うための助けとなるはずで、猫と暮らしたいと思った場合に、保護猫を家族に迎えるという選択肢も考えてみてください。室内飼いを徹底することも、不幸な猫を増やさないための一因となります。はじめから無理とあきらめずに、今日からでも私たちにできることを一つひとつ探していきましょう。



## 平井・小松川Shippoの会さんへの一問一答

Q：ボランティアを始めたきっかけは？

A：元捨て猫が身近な存在になったことで、殺処分方法や数、野良猫の現実、虐待事例などを知り身近な場所からできることを始めようと思いました。

Q：ボランティアをされていてよかったと思った出来事などは？

A：TNRした猫がご飯(マナーを守ったえさやりで)をもらいながら元気なこと、地域の人が自らできることを始めようと動いてくれたこと、です。

Q：地域の人に知ってほしいことは？

A：人の行動、心一つで、猫の生きる環境も、地域環境も簡単に変わります。一人一人ができることを、今一度考えて頂ければと思います。

6月10日時点里親募集中。お問い合わせは下記QRコードまで

平井・小松川Shippoの会

